

# 営農情報

令和3年4月23日

第7号

## ○春まき小麦の播種について

本年は積雪量が多く、圃場乾燥に時間を要する圃場が多く確認されており、現状播種が実施出来ない圃場が多く確認されています。播種時期が遅れる事で生育日数が不足し、減収・細麦の発生が危惧される事から、下記事項に留意し栽培に取り組みましょう。

### ①春まき小麦の播種晩限

平成24年の大雪時には4月30日に播種となった圃場で収量7俵となった実績がありますが、平成24年は生育期間中の天候が春まき小麦に向けた天候となり、豊作年となりました。例年どおり、本年の播種晩限は4月25日とし、以降の播種となった場合は播種量を増やし、極力穂数を確保するように心がけましょう。

### ②春まき小麦の播種量（目安）

品 種 名	4月下旬	5月上旬
春よ恋	14～15kg/10a	15～16kg/10a
はるきらり	15～16kg/10a	16～17kg/10a

※春まき小麦の目標播種粒数は340粒/m<sup>2</sup>ですが、「はるきらり」は「春よ恋」に比べ子実重量が重い為、目標播種粒数を播種するにはやや播種量を多く必要とします。

## ○秋まき小麦の起生期追肥について

現在、多くの圃場で起生期を迎えており、雪腐病や停滞水によってやや痛みはあるものの融雪が早かった事もあり、廃耕となる圃場は極僅かとなりました。

起生期の追肥については**茎数を計測し**、施用しましょう。

### ○生育に応じた起生期追肥量の目安

起生期茎数	窒素施用量
1,500本/m <sup>2</sup> 以上	2kg/10a
800～1300本/m <sup>2</sup>	2～4kg/10a
700～800本/m <sup>2</sup>	4～6kg/10a
600本/m <sup>2</sup> 以下	4～8kg/10a

※BB082CRを基肥として使用している場合は、生育量に応じて不足分を補いましょう。

## 茎数の調査方法について

《条播の場合》

① 畝50cm間の茎数を数えましょう。(2カ所)

② 2カ所の茎数を足して、畝幅で割りましょう。

**【式】**  $100 \div \text{畝幅(cm)} \times \{ (50\text{cmの茎数}) + (50\text{cmの茎数}) \} = \text{m}^2\text{当たりの茎数}$

《大豆間作の場合》

① 平均的な2カ所で調査しましょう。

② 0.66m×0.3mの広さの中の茎数を数えましょう。

**【式】**  $2\text{カ所の茎数の合計} \times 5.05 = \text{m}^2\text{当たりの茎数}$

J A み ね の ぶ 営 農 販 売 課

TEL 0126-67-2334 FAX 0126-67-2803